

株式会社愛媛 CATV
第 34 回番組審議会 議事概要

第 34 回番組審議会は、2023 年 7 月 27 日（木）、株式会社愛媛 CATV 5 階会議室において、6 名の審議委員が出席し開催。審議会では小林会長の進行のもと「CATV 番組・最近の取り組み」についてと、諮問番組「リクエストアワー」、「第 50 回野球拳全国大会記念 ギネス世界チャレンジ」、「CATV Online Challenge CUP」を視聴し、それらに関する審議を行った。

■出席委員

会長 小林 真也（愛媛大学大学院理工学研究科 教授）
委員 高瀬 浩二（愛媛県企画振興部デジタル戦略局 デジタルシフト推進課長）
委員 片上 裕治（株式会社テレビ愛媛 編成局長）
委員 川井 光一（株式会社愛媛 F C 営業部 プロジェクトマネージャー）
委員 午頭 啓子（松山市在住 CATV 加入者）
委員 渡邊 洋心（愛媛大学大学院 人文社会科学研究科）

■諮問番組

「リクエストアワー」
「第 50 回野球拳全国大会記念 ギネス世界チャレンジ」
「CATV Online Challenge CUP」

■主な発言

①「リクエストアワー」について

- ・昨年度出た意見が早速番組になっていて驚いた。
- ・様々な人が日々の生活を送る中で、ふと過去を振り返ってみようと思った時に、それが映像として残っているのはとてもいいことだと思う。
- ・家族の方などが今ご覧になったら、非常に感激してもらえと思う。
- ・民俗や習俗も変化するため文化的な価値もある映像だ。

②「第 50 回野球拳全国大会記念 ギネス世界チャレンジ」について

- ・大人から子供まで真剣に参加をして作り上げた様子が伝わって来たと共に、こんなに感動するイベントだったと知ることができてとてもいい番組だった。
- ・ギネスは厳粛なもので認定員も厳しい人かと想像していたが、スタッフも含め参加者全員が楽しんだイベントだったというのがとても伝わった。
- ・イベントに参加した後の参加者の表情を撮っていたところがいい番組になった要素だと思う。

③「CATV Online Challenge CUP」について

- ・e スポーツの番組はよくあるが見せ方が難しい。フォーカスするのがゲームの画面なのか、解説なのかといった課題がよく出る。
- ・参加者のリアルな顔を見ることが出来たり、予選から放送をしていたのが良かった。
- ・オンラインゲームは普段はゲーム名でお互いを認識しているが、リアルで対面するとコミュニケーション力も上がるので良いと思った。
- ・e スポーツでも顔が見えるイベントでよかった。また、新しいことにチャレンジする会社の姿勢を感じ取ることができた。今後もチャレンジ精神を大事にして欲しい。

以上、これらのいただいたご意見を今後の制作に役立てることをお伝えした上で、引き続き愛媛 CATV の番組をご覧いただき、気になったこと等あれば何なりとご指摘いただくようお願いをし、番組審議会を終了した。

以上